

## キラリ！ デジタル推進企業



IT 導入補助金を活用し、3D・VR 機能を備えた画期的な設計ソフト「ALTA Revolution (アルタ・レボリューション)」を導入。リアリティのある完成イメージの提案を実現した。

### 株式会社リホーム熊本

代表取締役社長 野中 幹広さん

マーケティング部 安在 一天さん

## 「労働人口の減少が加速する時代、DX を進めるのはトップの役割」

コロナ禍の2021(令和3)年4月、「株式会社リホーム熊本」代表取締役社長に就任した野中幹広さん(66)。当時、2016年の熊本地震でリフォーム需要が高まり、県外からの参入による低価格競争が激化していました。野中社長は、業務効率化および働き方改革における労働環境改善を目的にDX化に着手。同時に、資産価値を高めるリフォーム・リノベーションを目的とした品質・技術向上と、イメージ・ブランディング戦略に取り組みました。

「サイボウズoffice」や「SAKSAK」を活用し、スケジュール・情報共有、顧客・契約管理を開始。働き方の「見える化」を実現し、データの分析、改革に向けた課題把握に着手しました。

「人口、消費、労働人口の減少が加速する時代にITの活用は必須。DXを進めるのはトップの役割」と野中社長は断言します。DXによる効率化、生産性向上、付加価値の創造に不可欠なのが人材教育。現場での仕事が多く、頻繁に勉強会を開くことが困難なため、「Google Workspace」のチャットを活用し、動画で最新の業務マニュアルや要点を配信。必要な情報を共有しています。

「法規制やコロナ禍の資材高騰など厳しい状況の中で売上を上げるには、会社の方向性を共有し、知恵を出して計画と次の策を立てる『時間』の確保が重要」と、毎日17時半から30分間のミーティングで、各現場の進捗状況やお客様への対応すべき事項

等を共有。当日の残業の要否を判断し、翌朝からのスムーズな業務の開始に備えています。

顧客の中心年齢層は、中古住宅を購入してリノベーションする20~30代と、古くなった自宅や親の家のリノベーションを考えるシニア層。親の家を暮らしやすくリノベーションしたいと相談に訪れたシニア層の姉妹の実話をヒントに、イメージ戦略「リノゼント」(リノベーション+プレゼント)を造語。30秒のストーリー動画を作成し、ウェブサイトにSNSで発信しています。広告動画をスキップせず視聴した人が50%を超えるという関心度の高さも、ネット集客の可能性を実証しています。

営業支援ツール「KASIK」を活用し、メールマガジンにおけるクリック履歴を営業に活用。2022年から週休2日を完全実施しながら、「必要とされるお客様に、必要な工事を提案・提供する」という戦略で、平均単価が前年度上期比167%、売上136%と確実に成果を上げています。

今後の取組みとして、お客様の要望や現場状況を画像で共有する「おうちLiveアシスト」を導入予定(1月予定)。的確・迅速なサービスで顧客満足度を高め、業務効率化を進めています。

また、「IT導入補助金」を活用して専属職人が作成する注文請書を電子導入する等、DX化を社外に拡大しています。



「くまもとDXアワード2022」(熊本商工会議所主催)で奨励賞を受賞した「株式会社リホーム熊本」。(左)代表取締役・野中幹広さん、(右)マーケティング部・安在一天さん。「使いやすさを考慮し、DXを進めてきました。今後の課題は、ペーパーレスの完全実現と電子保存」と安在さん。

#### DATA

株式会社リホーム熊本  
熊本市東区長嶺東 5-8-10  
TEL 096-380-5078  
設立：1988(昭和63)年1月  
従業員数：17名  
事業内容：リフォーム、エクステリア事業  
<https://re-homekumamoto.com/>  
Instagram : rehome\_kumamoto  
X (旧 Twitter) : @rehomekumamoto